

# 令和4年度 事業報告書

---

社会福祉法人 平和の聖母

# 1 法人理念および基本方針

## 法人理念

かけがえのない尊厳ある人が集い、共に安らかに暮らし、共に学び成長し、共に働き喜び、聖母マリアのようにカトリックの愛の精神に根ざした社会福祉の開花を目指します。

## 基本方針

1. 私たちは、一人ひとりの可能性と持てる力に応じた暮らしを支援し、家庭生活と社会生活のあらゆる面への参画に共にチャレンジします。
2. 私たちは、人と人との交わりや助け合いを通して、自己と他者が共に成長していく社会福祉の仕事に誇りを持ち、感謝します。
3. 私たちは、より効果的で人道的な経営を探求し、地域福祉を展開することで、広く共通善に貢献します。

## 平和の聖母の祈り

わたしたち法人の名前をいただいた平和の聖母  
人と人との平和を目指し  
わたしたちがつねに  
苦しむ方々、悲しむ方々、社会的に弱い立場の方々に心を合わせ  
平和のために奉仕することができますように  
また、わたしたち自身も  
弱さのうちに生きる者であり、平和の聖母のご保護のうちに  
歩み続けていくことができますように

## 2 令和4年度事業報告における総括

全国で新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、当法人は今年度も利用者の安全と健康を最優先に考え、感染対策に取り組んだ。同時に利用者の満足度向上と職員の処遇改善にも力を注ぎ、虐待防止に積極的に取り組むために研修を実施した。感染対策に関しては、厚生労働省や地方自治体のガイドラインに基づき、手洗いやマスクの着用、定期的な消毒などの基本的な対策を徹底した結果、利用者と職員の安全を確保すると同時に、感染リスクを最小限に抑えることが出来た。利用者の満足度向上に向けて、個別のニーズや要望に応じたサービスの提供に努め、利用者の声に耳を傾け、定期的なアセスメントを行いながら、サービスの改善や充実を図った。また、職員の処遇改善にも力を入れ、働きやすい環境づくりを目指し、介護福祉士資格取得支援や処遇改善加算等を利用した給与増額の取り組みを行った結果、職員の離職率の低下を実現できた。さらに、虐待防止にも重点を置き、職員に対して定期的な研修を実施し、虐待の兆候の早期発見や報告手続きの重要性について啓発し、適切な対応と報告体制の確立を図った。これら踏まえ、以下に令和4年度の事業報告を行う。

## 3 令和4年度事業報告における重点項目

### (1) 利用者等への虐待防止にかかる取り組みの再徹底

利用者等への虐待については、全国的にも事例の報告が後を絶たない状況であり、当法人内においても、虐待の防止や身体拘束の禁止に関しては、障がい者や高齢者の特性に応じた対応方法についての研修など、さまざまな取り組みを行ってきたが、今年度は委員会において障がい者と高齢者の虐待防止に関する対策やリスク評価の実施を行い、虐待の早期発見と報告の重要性を啓発するなど、改めて取り組みを再徹底した。具体的には、定期的な研修や情報共有会議を通じて、虐待の兆候や報告手続きについての理解を深める取り組みを行い、障がい福祉サービスおよび介護保険サービスの運営基準の改正に基づき、法人内の規定を遵守した。接遇マナーや言葉遣いの乱れが虐待の始まりとなることが多いことから、法人の職員には、人間尊重を基本姿勢とし、人が人として存在していることに価値があるという意識を持ち、介護の専門家としての自覚を持ってケアに取り組むよう努めた。今後も、障がい者と高齢者の虐待防止に向けた取り組みを強化し、利用者の安全と人権の保護に全力を尽くし、虐待のない社会を実現するために、法人全体で連携し、啓発活動や体制の見直しを行っていく。

### (2) 業務継続計画（BCP）の作成と見直しの継続

業務継続計画（以下：BCP）の目的と重要性をスタッフに周知し、組織全体での理解を深めるために、全国社会福祉法人経営者協議会の研修に参加するなど、各部署の責任者と協力して、具体的な対策や手順の策定に取り組んだ。BCPは組織の状況や環境の変化に合わせて継続的に改善・更新されるべきものであり、今後も引き続き、BCPの見直しや改善点の特定に取り組み、対策を検討していく。BCP策定のプロセスにおいては関係者の積極的な協力と意見交換が行われ、組織全体のリスク管理意識の向上とBCPの効果的な実施を確保するために、将来的な業務継続訓練を計画していき、今後は訓練プログラムの検討や訓練演習の実施方法について法人全体で取り組んでいく。

### (3) 新型コロナウイルス感染者の発生を最小限に抑える

全国的に新型コロナウイルス感染症が広がる中、当法人内でも利用者および職員に陽性者が確認された。令和4年度において、障がい者支援施設ウエルフェアマリアではスタッフ12名、メゾンマリアではスタッフ17名の陽性者が発生した。また、ウエルフェアマリアの通所利用者7名、ケアハウスメゾンマリアの入居者4名、デイサービスセンターメゾンマリアの利用者17名、グループホームメゾンマリアの入居者7名、さらに法人役員1名の合計65名の陽性者が確認された。中でもデイサービスセンターメゾンマリアでは7月に、グループホームメゾンマリアでは12月にクラスターが発生し、久留米市保健所の指導のもとで対策に取り組んだ。職員や通所者に感染が広がることはあったが、障がい者支援施設ウエルフェアマリアの入所者においては、新型コロナウイルス陽性者は未だ発生しておらず、その点については評価できる。

#### (4) 職員のさらなる処遇改善への取組

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）」に基づき、令和4年2月から9月までの間に実施された「介護職員処遇改善支援補助金」の交付割合は、全国平均で75.1%だった（「ベースアップ等支援加算」は10月に創設され調査中）。処遇改善加算の取得率は93.4%、特定処遇改善加算は75.1%となっており、当法人はこれらの補助金と介護保険・障がい福祉サービスにおける3種類の補助金・加算を全て取得した。これにより、職員の処遇改善に充てることができた。また、加算対象外の事業についても、法人独自の処遇改善策を実施した。その結果、人件費は4.3%増加したが、離職率は低下し、人材紹介・人材派遣業者を利用せずとも、職員配置基準を遵守することができた。さらに、パートタイム・有期雇用労働法では、正社員と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止されているため、契約職員の就業規則を廃止し、パートタイム労働者に対して扶養手当や住居手当、賞与の支給など、正職員との待遇差を改善する努力を行った。

#### (5) アルコール検知器の使用と記録の徹底

道路交通法改正（道路交通法施行規則の改正）により、令和4年10月からアルコール検知器を使用した酒気帯びの確認が義務化される予定だったが、警察庁は世界的な半導体不足や全国的な一斉発注の影響により、在庫確保が困難となったため、「令和4年10月1日から予定されていたアルコール検知器の使用義務化を当面延期する」方針を発表した。本法人は既に4月からアルコール検知器を使用した酒気帯びの確認と記録を開始しているが、運用上の問題は特になく、将来的に再び法制化されることが予想されるため、引き続きアルコール検知器を使用した記録を続けることにした。

## 4 各事業における重点項目

### (1) 障がい者支援施設ウェルフェアマリア

障がい者虐待の防止および身体拘束の適正化の推進が義務化され、毎月2回の全体会議で各推進委員会やリスクマネジメント委員会を開催し、障がい者の人権および基本的人権の享有を約束した施設サービスを提供するよう全職員に呼びかけた。また、職員の資質向上のために、勤務年数に応じた外部研修に参加するなど、専門性を高める取り組みを行い、全職員が利用者の尊厳を保持し、接するよう努めた。介護福祉士の国家資格者が3名増加し、全生活支援員の73%が介護福祉士となり、また、第3号喀痰吸引実務者研修修了者19名を配置し、昼夜痰吸引を必要とする方々の安心な施設生活を支援する体制を整えた。さらに、増設したICT機器「眠りスキャン」を活用し、夜間の巡回活動に役立てた。

生活面では、利用者の食事形態を改善する取り組み、創作活動やリハビリテーションの充実を図り、医療面でも365日看護職員を配置するなど、充実した医療サービスに取り組み、緊急的な短期入所の要請にも対応した。生産活動においては、就労支援事業の売上が前年比で107.6%となり、利用者への工賃支払額も平均で前年比124.4%に達した。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、季節に応じた久留米市近郊の観光や文化施設への見学などの外出企画を多く実施し、利用者の精神的なストレスの解消に取り組んだ。コロナ禍が3年経過したが、ウェルフェアマリア入所者からは一人も感染者を出していないことは、日頃の感染対策の取り組みが適切であることに対する自信にも繋がった。

#### ウェルフェアマリア施設入所 延べ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	14,157	14,207	14,188	14,455	14,303

#### ウェルフェアマリア短期入所 延べ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	411	207	375	285	230

#### ウェルフェアマリア生活介護 延べ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	13,615	13,100	13,414	13,429	13,488

#### ウェルフェアマリア施設入所 平均年齢

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男（歳）	62.0	62.7	63.2	64.2	63.2
女（歳）	62.2	63.2	61.1	59.3	59.7

ウエルフェアマリア通所 平均年齢

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男（歳）	46.0	49.1	50.2	50.1	48.4
女（歳）	43.9	45.9	46.3	40.6	43.0

ウエルフェアマリア特定相談支援 利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画（人）	65	82	52	49	67
モニタリング（人）	46	71	80	77	64

ウエルフェアマリア施設入所 サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	91,444,683	91,162,495	92,810,779	97,811,623	96,920,955

ウエルフェアマリア生活介護 サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	146,301,365	142,924,409	148,729,427	150,482,176	155,514,055

ウエルフェアマリア特定相談支援 サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	1,927,510	2,140,180	1,820,210	1,739,080	1,917,340

ウエルフェアマリア 拠点区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	113,131,747	118,348,951	125,172,571	135,061,557	139,418,726

ウエルフェアマリア 拠点区分事業費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	24,624,740	23,101,150	23,837,920	25,362,455	26,182,649

ウエルフェアマリア 拠点区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	32,680,694	34,679,578	32,567,341	33,263,496	35,093,817

就労支援事業収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	18,354,495	16,568,369	13,575,153	16,858,818	18,212,135

(2) ケアハウスメゾンマリア

日常生活面では、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けたが、入居者の要望をもとに、十分な感染対策の上、外出行事や施設内及びオンラインでの交流イベントを実施した。予想以上に高い満足度となり、今後の活動を企画する上で、不透明かつ閉塞感もあったが、それを払拭する契機の一つとなり、何より実践に移すことの重要性を再認識できた。

一方、運営面に目を向けると、他施設では空室が相次ぐ中、今年度も満室での運営を維持した。一人部屋への申込数は増加しており、既存入居者からの紹介、いわゆる口コミによるものが多い。しかし、二人部屋の待機者は減少傾向にあり、満室維持の課題でもあるため、情報発信の対象地域を拡充させた。現在のところ具体的な成果には至っていないが、引き続き活動を重ねる。

開設後20年が経過し、設備面の修繕も増加しており、今般の社会情勢による物価高騰も続いている。今後も各方面での費用の増加が想定されることから、適宜対応すると共に拠点全体でのコスト意識の向上を図った。地域貢献活動においては、通常開催できない中、地域の高齢者向けのゆうゆうサロンのみ、出張形式で定期開催した。しかし、参加者は減少傾向であり、地域自体の関係性も希薄化していることがわかった。今後は参加促進に向けて、関係機関との連携した働きかけが必要となる。

ケアハウスメゾンマリア 初日利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	600	600	600	600	600

ケアハウスメゾンマリア施設入所 平均年齢

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男（歳）	84.1	87.2	88.5	86.1	86.6
女（歳）	84.9	84.7	84.2	84.7	85.1

ケアハウスメゾンマリア サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	91,265,797	90,187,986	90,982,594	90,051,170	91,192,078

ケアハウスメゾンマリア サービス区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額（円）	28,089,827	25,871,982	25,323,996	24,705,573	26,658,785

#### ケアハウスメゾンマリア サービス区分事業費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	21,608,571	20,597,882	20,274,779	20,346,092	24,050,501

#### ケアハウスメゾンマリア サービス区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	30,149,241	29,036,577	29,534,361	34,339,891	31,991,721

### (3) デイサービスセンターメゾンマリア

新型コロナウイルスによる様々な制限を受ける中、利用者の満足度向上に注力し、室内イベントを充実させた。内容については、簡易的なアンケートを継続して実施し、そこで得た要望を積極的に取り入れた。それにより、利用者全体の意欲の向上と職員の柔軟かつ多様なアイディアの発出にも繋がった。合わせて、これらの取り組みを外部発信することで、事業所のPRの機会にもなったが、実施頻度や対象者数が限定的である点が課題となった。

感染症関連では、令和4年7月に新型コロナウイルスの集団発生によって1週間の事業休止を余儀なくされた。当該期間、利用者は自宅待機となったため、必要に応じて電話連絡・訪問等にて安否確認等を実施した。また、他事業所での同様の休止ケースの際には、緊急的に利用者を受け入れることで、地域の社会資源としての役割に繋がった。このように様々なリスクがある中においても、改めて継続的かつ効果的な対策を徹底することで、その後の再発を防ぐことができた。一方、事業実績においては、営業活動を練り直し実践に移したことで、徐々に延べ利用者数も増加に転じており、次年度に繋がる取り組みとなった。

#### デイサービスセンターメゾンマリア 延べ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	6,369	6,369	7,353	7,200	7,406

#### デイサービスセンターメゾンマリア 平均年齢

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男(歳)	83.8	83.3	84.9	82.6	83.1
女(歳)	85.1	85.6	85.6	85.1	85.4

#### デイサービスセンターメゾンマリア サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	50,296,281	58,760,399	58,861,440	56,940,116	59,933,505

#### デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	32,785,649	34,799,112	39,318,087	41,080,635	40,625,971

#### デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事業費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	8,234,853	7,667,550	7,979,240	8,333,866	9,027,923

#### デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	4,574,964	4,762,332	4,530,364	4,241,135	4,591,731

### (4) メゾンマリアホームヘルプサービス(訪問介護・障がい福祉サービス)

今期の計画通りサービス提供責任者を下半期より増員し、サービス提供体制の安定化を図った。それにより得た効果は大きく、特にこれまで制限していた、新規依頼における多様なケースへの積極的な受け入れが可能となり、各機関からも柔軟な事業所として改めて認知されたとされる。これらに加え、懸念されていた訪問前後のフォロー体制も構築でき、収支状況でも大幅な改善に繋がった。引き続き訪問介護員の増員を図り、サービス提供体制が充実化すれば、事業継続面での安定感もさらに増すと思われる。

また、補助金を活用したICT化の促進にも着手し、予定通り端末及びソフトを導入した。年度末の導入となったため具体的評価には至っていないが、現時点では記録類に係る業務の負担軽減等の効果が得られている。ただし、操作方法の習得に差があるため、更なる効果を得るためにも操作技術の向上が必須となる。事業所全体のスキルアップについては、職員各々で目標を設定し取り組んだ。技術的向上は実践を通して徐々に得られたが、利用者の突発的な要望等に対し苦慮する場面も生じた。そのため、臨機応変に対応できるよう、事例については随時集約と共有を重ね、対応方法を定めた。

メゾンマリアホームヘルプサービスのべ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	3,980	3,797	3,604	3,729	4,484

メゾンマリアホームヘルプサービス 平均年齢

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男(歳)	76.1	77.4	81.4	81.2	81.7
女(歳)	83.2	84.7	85.7	86.4	86.1

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)のべ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	657	424	777	775	922

メゾンマリアホームヘルプサービス(移動支援)のべ利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	48	41	17	45	18

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	12,055,656	10,999,641	11,575,153	11,321,317	15,252,655

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	2,733,540	2,289,800	5,659,540	6,193,020	6,944,770

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	13,109,991	11,575,053	13,016,158	12,333,159	15,045,024

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	2,623,143	2,007,328	2,198,775	1,771,951	2,776,811

(5) メゾンマリアケアサポート

当事業所への利用者の紹介は、地域包括支援センターが主となっており、依頼内容については、他事業所での対応が困難なケースが多くを占めている。このようにあらゆるケースを積極的に受け入れることは、実務者のスキルアップと共に地域資源の充実化にも繋がると思われる。合わせて、事業所の方針が外部に浸透していることで、時期によってはやむなく依頼を断るケースも複数件あるが、利用者の安定した確保等、事業運営面にも寄与している。これらの取り組みを継続し、拠点全体にも波及させることができれば、自ずと事業実績自体も向上すると思われる。

令和4年9月に実施されたケアプランチェックでは、特に指摘事項等はなく、法改正と共に変化を要するケアマネジメントについて、現状と比較できる機会となった。加えて、帳票類作成の留意点も学ぶことができ、ニーズを捉える視点も広がった。感染症対策では独居利用者の支援が課題となった。当該利用者が陽性となった場合、在宅サービスの利用制限は、日常生活そのものに支障をきたす恐れもある。有事における生活の質の維持には、遅延なくかつ切れ目のないサービス提供体制の整備とそれに向けた具体的計画が重要であることを再認識できた。

メゾンマリアケアサポート 利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	774	802	851	893	886

メゾンマリアケアサポート サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	7,886,680	8,024,590	8,912,620	9,693,470	10,207,560

メゾンマリアケアサポート サービス区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	10,429,593	10,867,039	11,445,893	11,840,292	12,176,407

メゾンマリアケアサポート サービス区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	260,562	359,314	277,869	264,271	300,490

## (6) グループホームメゾンマリア

新型コロナウイルス関連では、年末にユニットⅠにおいて、利用者及び職員計14名の集団感染が発生した。事業所間のフォローや柔軟なシフト調整のもと、個室対応等で感染拡大に注力しながらケアを提供した。加えて、様々な制限の影響を受けないよう、これまで以上に入居者の心身状態の確認と情報共有を徹底した。想定以上の事態となったため、特に備品関係の整備に遅れが生じたが、今後の対策に向けた一つの実践例にもなった。

サービス面においては、短時間外出の機会を増やすと共に、屋内活動の充実化として、食に関するプログラムを導入し、満足度向上と入居者個々の役割の創出に繋がった。面会については、入居者の意欲向上にも繋がることから、時期に応じて制限と緩和を調整し、オンライン面会と並行して柔軟に対応することができた。地域交流では、様々な制限の中、継続して運営推進会議や地域包括支援センターとのおしゃべり会、地域の保育園との交流の機会を確保した。

開設後初めて実施された指定更新に伴う実地指導では、軽微な指摘事項が複数あったものの一定の評価を得たことで、今後の事業運営に向けた一つの目安となった。また、事業実績では、入院によって延べ利用者数が減少しており、待機者や見学者についても、減少傾向にあるため、外部への情報発信の機会を増やし、次年度以降に繋げることにした。

### グループホームメゾンマリア 利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	215	214	215	216	212

### グループホームメゾンマリア サービス活動収益

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	81,631,438	83,113,840	84,958,217	86,803,487	86,889,920

### グループホームメゾンマリア サービス区分人件費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	54,615,083	56,886,790	63,713,212	61,412,493	64,855,727

### グループホームメゾンマリア サービス区分事業費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	10,012,339	9,785,115	10,409,788	10,885,838	10,936,747

### グループホームメゾンマリア サービス区分事務費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
金額(円)	4,084,749	4,087,802	3,929,949	3,879,389	4,301,110

## 4 法人運営

### (1) 理事会の開催

実施月	議案等	出席者
6月9日	第1号議案 令和3年度事業報告(議決数/過半数) 第2号議案 令和3年度監事監査報告および決算(議決数/過半数) 第3号議案 令和4年度第一次補正予算(議決数/3分の2以上) 第4号議案 令和4年度定時議員会の日時・場所及び議題等(議決数/過半数) 第5号議案 規則の改廃(議決数/過半数) 第6号議案 理事長の職務の執行状況報告(令和4年3月～令和4年6月)(報告事項)	理事5 監事2
11月10日	第1号議案 令和4年度第二次補正予算(議決数/3分の2以上) 第2号議案 管理者の変更に伴う選任(議決数/過半数) 第3号議案 規程の制定および改正(議決数/過半数) 第4号議案 令和4年度第1回臨時議員会の日時・場所及び議題等(議決数/過半数) 第5号議案 理事長の職務の執行状況報告(令和4年6月～11月)(報告事項)	理事5 監事2
3月16日	第1号議案 理事長の職務執行状況報告(報告事項) 第2号議案 久留米労働基準監督署からの是正勧告(議決数/過半数) 第3号議案 令和4年度第三次補正予算(議決数/3分の2以上) 第4号議案 令和5年度事業計画(議決数/3分の2以上) 第5号議案 令和5年度予算(議決数/3分の2以上) 第6号議案 規程の変更(議決数/過半数) 第7号議案 令和4年度第二回臨時議員会の日時・場所及び議題等(議決数/過半数) 第8号議案 社会福祉法人役員等賠償責任保険契約(議決数/過半数) 第9号議案 上津町字向野2228-691と隣接する土地の問題(議決数/過半数)	理事5 監事2

## (2) 評議員会の開催

実施月	議案等	出席者
6月24日	第1号議案 令和3年度事業報告（報告事項） 第2号議案 令和3年度監事監査報告および決算（議決数／過半数） 第3号議案 令和4年度第一次補正予算（議決数／過半数） 第4号議案 理事会における決議の報告（報告事項）	評議員7 理事2 監事2
11月18日	第1号議案 令和4年度第二次補正予算（議決数／過半数） 第2号議案 理事会における決議等の報告（報告事項）	評議員7 理事2 監事2
3月24日	第1号議案 令和4年度第三次補正予算（議決数／過半数） 第2号議案 令和5年度事業計画（議決数／過半数） 第3号議案 令和5年度予算（議決数／過半数） 第4号議案 理事会における決議等の報告（報告事項）	評議員7 理事1 監事2

## (3) 監事監査

実施月	内容	開催地	出席者
5月26日	令和3年度決算に係る監事監査	法人本部	監事

## (4) 苦情解決第三者委員会報告会

実施月	内容	開催地	出席者
10月20日	苦情解決に関する第三者委員会報告会	メゾンマリア	第三者委員

## (5) 法人運営管理委員会

実施月	内容	開催地	出席者
毎月	法人運営管理委員会	メゾンマリア	運営管理委員

## (6) 法人事務

日時	内容	場所	対応者
4月15日	障害福祉サービス等処遇改善計画書提出	久留米市	事務局長
4月15日	令和4年度介護職員処遇改善計画書提出	久留米市	事務局長
6月7日	社会福祉法人役職員等研修	オンライン	管理者他
6月19日	経済構造実態調査・経済産業省企業活動基本調査	郵送	事務局長
6月26日	財務諸表公表制度書類アップロード	オンライン	事務局長
6月27日	資産総額変更登記	福岡法務局	事務局長
6月29日	福祉医療機構事業報告	オンライン	事務局長
7月6日	公益法人等の損益計算書等の提出	久留米税務署	事務局長
7月6日	高齢者及び障がい者雇用状況報告	ハローワーク	事務局長
7月9日	令和4年度集団指導受講（youtube）	久留米市	施設長
7月26日	令和3年度障害福祉サービス等処遇改善加算実績報告提出	久留米市	事務局長
7月29日	令和3年度介護職員処遇改善加算実績報告提出	久留米市	事務局長
7月30日	障害福祉サービス等情報公表の提出	オンライン	事務局長
1月3日	給与支払報告書提出	各市町村	事務局長
1月7日	給与所得の源泉徴収票等の法定調書提出	久留米税務署	事務局長
1月23日	令和4年度介護職員処遇改善支援補助金実績報告書提出	麻生介護サービス	事務局長
1月24日	令和4年度福祉・介護職員処遇改善支援補助金実績報告書提出	福岡県	事務局長

## 5 経営指標

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
サービス活動収益	485,136,680	489,218,440	504,866,368	510,769,507	524,584,620
サービス活動増減差額	46,108,966	53,005,189	51,411,239	38,063,145	32,545,983
経常収益	488,361,610	492,956,985	509,973,520	519,614,610	538,316,127
経常増減差額	48,021,250	55,624,094	55,591,757	46,257,185	45,967,698
人件費	252,161,890	258,348,927	277,989,917	286,433,709	298,780,640
事業費	64,480,503	61,151,697	62,501,727	64,928,251	70,197,820
事務費	74,089,023	74,550,686	72,798,919	77,557,953	78,920,730
減価償却費	61,872,291	52,954,987	45,671,753	47,824,654	47,168,641
国庫補助金等取崩額	△ 32,253,291	△ 25,910,037	△ 20,155,170	△ 20,012,614	△ 19,605,968
支払利息	1,312,646	1,110,640	926,634	651,063	309,792
事業活動資金収支差額	78,986,031	80,091,763	84,082,953	75,630,184	65,576,208
資産総額	1,435,455,617	1,465,169,668	1,503,041,254	1,529,285,808	1,555,647,534
社会福祉充実残額	△ 272,270,000	△ 233,830,000	△ 221,040,000	△ 209,600,000	△ 203,820,000
厨房労務委託費	34,201,440	37,206,120	39,454,800	40,774,800	40,774,800
消費税納税額	521,300	551,300	479,100	566,500	598,200
障がい者雇用率	3.23%	4.65%	8.21%	3.79%	3.62%

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	WAM平均 (2021年度)		
人件費率	%	52.0%	52.8%	55.1%	56.1%	57.0%	67.3%	○
(人件費+厨房委託費)率	%	59.0%	60.4%	62.9%	64.1%	64.7%		○
経費率	%	28.6%	27.7%	26.8%	27.9%	28.4%	24.1%	×
事業費率	%	13.3%	12.5%	12.4%	12.7%	13.4%	13.5%	○
事務費率	%	15.3%	15.2%	14.4%	15.2%	15.0%	10.6%	×
減価償却費率	%	6.1%	5.5%	5.1%	5.4%	5.3%	4.8%	×
サービス活動収益対増減差額比率	%	9.5%	10.8%	10.2%	7.5%	6.2%	2.5%	○
経常収益対増減差額比率	%	9.8%	11.3%	10.9%	8.9%	8.5%	2.7%	○